

太宰府市ひきこもり実態調査報告

1 実態調査の実施及び概要

■経 緯

周りに相談しづらい「ひきこもり」について、本市における実態を把握し、今後の施策の検討や支援に繋げていくため、ひきこもり状態にある本人およびその家族、関係機関へ調査を実施しました。

■対 象

市内在住の15歳以上(中学生除く)の『ひきこもり』状態にあると思われる者及びその関係機関※寝たきり等の身体的な事情によるものを除きます。

■調査方法

①当事者・家族向け調査

《調査方法》

ひきこもり当事者、家族、関係者等あてに、市広報、HP、SNS 等で周知し、WEB アンケート回答を募集しました。

《調査期間》

令和 6 年 9 月 1 日～9 月 30 日

《調査結果》

回答件数:37 件

②関係機関調査(支援者向け)

《調査方法》

関係機関あてに、把握しているひきこもり情報について照会し、回答をお願いしました。
(調査対象)介護支援専門員

《調査期間》

令和 6 年11月 22 日～令和 6 年12 月 27 日

《調査結果》

回答件数:30 件

【ひきこもりの定義】

仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態(厚生労働省定義)

※たまに買い物等に出かけられることを含む

2 実態調査の結果

(1)当事者・家族向け調査

Q1. 回答者はどなたですか

ひきこもり状態にある方(本人)	17 人
同居の家族	14 人
別居の家族	2 人
近隣の方	4 人
合計	37 人

Q2. ひきこもり状態にある方の年齢について

Q3. ひきこもり状態にある方の性別について

※以降の回答は対象者が重複している可能性があるため、Q1 の回答とは不一致となることがあります。

年齢	男性	女性	不明	計	割合
10 代	2 人	2 人	1 人	5 人	13%
20 代	4 人	1 人	0 人	5 人	13%
30 代	7 人	9 人	1 人	17 人	46%
40 代	2 人	0 人	1 人	3 人	8%
50 代	3 人	1 人	0 人	4 人	11%
60～64 歳	1 人	0 人	0 人	1 人	3%
65 歳以上	1 人	0 人	0 人	1 人	3%
不明	0 人	1 人	0 人	1 人	3%
計	20 人	14 人	3 人	37 人	-
割合	54%	38%	8%	-	-

Q4. ひきこもり状態にある方は家族と同居していますか(複数回答可)

父母	8 人
兄弟姉妹	26 人
祖父母	11 人
子・孫	3 人
ひとり暮らし	8 人
その他	1 人

Q5. ひきこもり状態になられて、どのくらい経っていますか

	1 年未満	2～5 年	6～9 年	10～20 年	21 年以上	不明
男性	2 人	12 人	2 人	2 人	0 人	2 人
女性	2 人	4 人	3 人	3 人	1 人	1 人
不明	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	1 人
計	5 人	16 人	6 人	5 人	1 人	4 人

	1 年未満	2～5 年	6～9 年	10～20 年	21 年以上	不明
10 代	1 人	3 人	1 人	0 人	0 人	0 人
20 代	1 人	2 人	1 人	0 人	0 人	1 人
30 代	3 人	6 人	2 人	5 人	0 人	1 人
40 代	0 人	1 人	1 人	0 人	0 人	1 人
50 代	0 人	3 人	0 人	0 人	1 人	0 人
60～64 歳	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人
65 歳以上	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人
不明	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人
計	5 人	16 人	6 人	5 人	1 人	4 人

Q5.で10年以上と回答した方のみお答えください。

ひきこもり状態の期間が長くなった理由をお聞かせください。

主な回答として、離職や疾病・傷病などが見受けられました。

Q6. ひきこもり状態になったきっかけは何ですか。(複数回答可)

	不登校		大学 受験	就職 の 失敗	職場に なじめ ず	失業・ 退職	疾病 (けが 等)	傷病 (精神的な もの)	性格的 なもの	事故や 犯罪被害	わから ない	その他
	小中 学校	高校										
10代	1人	3人	1人	0人	0人	0人	1人	3人	1人	0人	0人	0人
20代	1人	2人	1人	0人	0人	1人	1人	2人	1人	0人	0人	1人
30代	3人	6人	2人	5人	0人	1人	3人	6人	2人	5人	0人	1人
40代	0人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	0人	1人
50代	0人	3人	0人	0人	1人	0人	0人	3人	0人	0人	1人	0人
60～ 64歳	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
65歳 以上	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
不明	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
計	5人	16人	6人	5人	1人	4人	0人	0人	1人	0人	0人	0人

Q7. ふだんどのくらい外出されますか

	趣味の用事の ときだけ外出す る	近所のコンビ ニなどには出 かける	自室からで るが、家から でない	自室から ほとんど でない	わからない
10代	2人	2人	1人	0人	0人
20代	1人	3人	1人	0人	0人
30代	4人	10人	2人	0人	1人
40代	0人	2人	0人	1人	0人
50代	1人	3人	0人	0人	0人
60～64歳	0人	1人	0人	0人	0人
65歳以上	0人	0人	1人	0人	0人
不明	0人	0人	0人	0人	1人
計	8人	21人	5人	1人	2人

Q8. 現在、相談(支援)を受けていますか

	受けている	受けていない	受けていないが、 受けてみたい	わからない	合計
10代	2人	1人	2人	0人	5人
20代	0人	3人	1人	1人	5人
30代	4人	7人	5人	1人	17人
40代	1人	1人	1人	0人	3人
50代	0人	3人	1人	0人	4人
60～64歳	0人	1人	0人	0人	1人
65歳以上	0人	1人	0人	0人	1人
不明	0人	0人	0人	1人	1人
計	7人	17人	10人	3人	37人

Q8.で受けていると答えた方に質問です。どのようなところで相談(支援)を受けていますか(複数回答可)

	行政機関 (市役所、保健 センターなど)	教育機関 (学校など)	医療機関 (病院など)	民生委員・ 児童委員	その他
10代	1人	0人	1人	0人	0人
20代	0人	0人	0人	0人	0人
30代	1人	0人	3人	0人	0人
40代	1人	0人	0人	0人	0人
50代	0人	0人	0人	0人	1人
60～64歳	0人	0人	0人	0人	0人
65歳以上	0人	0人	0人	0人	0人
不明	0人	0人	0人	0人	0人
計	3人	0人	4人	0人	1人

Q8.で「受けていない」または「受けていないが、受けてみたいと思っている」と回答した方に質問です。相談(支援)を受けていない理由を教えてください。

どこに相談して良いのか分からない・誰に相談してよいか分からない・どうしたらよいか分からない・支援があると知らなかった	6人
面倒くさい・行きたがらない	2人
話すことが苦手・対人恐怖症	2人
体調が悪い	1人
必要としない	1人
支援(相談)機関への不信・不満	1人

Q9. ひきこもり状態の方に向けて、どのようなサポートがあると良いと思いますか
(複数回答可)

	気軽に相談できる窓口	悩みを話し合い、集える場所	社会体験の場	自宅への訪問	医療機関の紹介	福祉サービスの申請支援	生活の支援	仕事探しの支援	その他
10代	5人	4人	4人	2人	3人	1人	0人	1人	1人
20代	1人	2人	2人	1人	2人	3人	2人	4人	0人
30代	8人	5人	3人	2人	2人	3人	6人	11人	3人
40代	1人	0人	1人	0人	0人	1人	3人	1人	0人
50代	2人	2人	0人	1人	0人	0人	2人	2人	1人
60～64歳	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
65歳以上	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
不明	1人	1人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	0人
計	19人	15人	11人	6人	7人	9人	15人	19人	5人

※その他の具体的な回答

- ・実態の把握
- ・居場所づくり(平日)

Q10. 本市では、「社会との関わりに不安がある」、「他の人コミュにケーションがうまくとれない」など直ちに就労が困難な人に、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労の機会を提供する就労準備支援事業を実施しています。このサポートに興味がありますか

※省略

Q11. 現在、問題や困りごとがありましたらお聞かせください。(自由意見)

Q12. その他、行政に対してご意見等がありましたらお聞かせください。

たくさんの方からご意見をいただきました。

当事者からは、「どうすればよいかわからない」、「知られたくない」、「自分に合った福祉サービスが知りたい」など、様々な思いを抱えていることがわかりました。

また、ご家族等からは、当事者とのかかわり方や将来についての心配を抱えていることがわかりました。

※お寄せいただいた回答は、今後の施策検討に活かしてまいります。

(2)関係機関調査

Q1 あなたが、介護支援専門員として関わっているケースで、本人または家族の中にひきこもり状態にあると思われる方(以下、「対象者」)がいましたか？

いる(いた)	13 人
いない	16 人
わからない	1 人
合計	30 人

Q2 対象者の状況(年齢)について

Q3 対象者の状況(性別)について

※Q1 で「いる(いた)」及び「わからない」と回答した方のみ。

また、これ以降の回答は対象者が重複している可能性があるため、Q1 の回答とは不一致となることがあります。

	男性	女性	計
10 代	2 人	0 人	2 人
20 代	0 人	0 人	0 人
30 代	0 人	0 人	0 人
40 代	2 人	1 人	3 人
50 代	4 人	0 人	4 人
60 代	3 人	0 人	3 人
70 代	2 人	0 人	2 人
計	13 人	1 人	14 人

Q4 対象者の状況(同居する家族)について(複数回答)

父母	8 人
子	3 人
不明	1 人

Q5 対象者または対象者の家族からどのような相談がありましたか？

	専門機関に 相談したい	就職したい (してほしい)	自立したい (してほしい)	将来が不安	その他
対象者	0 人	1 人	0 人	0 人	3 人
対象者の家族	5 人	1 人	5 人	7 人	3 人
計	5 人	2 人	5 人	7 人	6 人

Q6 対象者または対象者の家族からどのような相談がありましたか？Q5 でその他と回答した方のみお答えください。

「将来が不安」、「専門機関に相談したい」、「自立してほしい」といった意見が多くありました。また、その他の意見として「市の対応に不満」、「あきらめ気持ち」、「現状について知ってほしい」といった意見もありました。

Q7 ひきこもり状態になられてどのくらい経っていますか？

	1 年未満	2～5 年	6～9 年	10～20 年	21 年以上	不明
男性	1 人	1 人	0 人	2 人	7 人	2 人
女性	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人
計	1 人	1 人	1 人	2 人	7 人	2 人

	1 年未満	2～5 年	6～9 年	10～20 年	21 年以上	不明
10 代	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人
40 代	0 人	0 人	1 人	1 人	1 人	0 人
50 代	0 人	0 人	0 人	0 人	3 人	1 人
60 代	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	1 人
70 代	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	0 人
計	1 人	1 人	1 人	2 人	7 人	2 人

Q8 ひきこもりに対する要因として何が挙げられると思われますか。(複数回答)

Q9 ひきこもりに対する要因として何が挙げられると思われますか。(自由回答)

	不登校(小・中・高校)	経済的困窮	就職活動や仕事の定着の問題	精神的な疾病や障がい	対人コミュニケーションが苦手	その他
10 代	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
40 代	0 人	0 人	2 人	2 人	1 人	1 人
50 代	0 人	0 人	0 人	3 人	2 人	0 人
60 代	0 人	0 人	2 人	0 人	1 人	1 人
70 代	0 人	0 人	0 人	2 人	2 人	0 人
不明	0 人	1 人	0 人	1 人	1 人	0 人
計	1 人	1 人	4 人	8 人	7 人	2 人

(自由回答)

「職場になじめない」、「家族との関係」、「将来に悲観」といった意見がありました。

Q10 市では令和 7 年 1 月 23 日(木)10:00~16:00 に「ひきこもり相談会」を開催します。本人・家族に「ひきこもり相談会」(※別途チラシ参照)の案内をすることは可能ですか。

※省略

Q11 ひきこもり状態にある方等への支援策として必要と思われることについてお答えください。

- ・対象者との関係性づくり
- ・傾聴と共感
- ・専門家による訪問型のサポート
- ・同居家族への支援

Q12 ご意見やお気づきの点がございましたら自由に記入してください。

たくさんの方からご意見をいただきました。

ひきこもりの方への対応の難しさや、関係機関との連携の強化や相談窓口の一本化を求める声などが見受けられました。

※お寄せいただいた回答は、今後の施策検討に活かしてまいります。

(1)当事者・家族向け調査 調査用紙

本市における「ひきこもり」状態にある方の実態を把握するため、アンケートを実施します。

【対象者】

市内在住の15歳以上（中学生を除く）の「ひきこもり」状態にあると思われる方とその家族（親族）

仕事や学校にいかず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態（たまに買い物等に出かけることを含む）

令和6年9月1日から令和6年9月30日まで

☐ひきこもり状態にある方（本人） ☐同居の家族 ☐別居の家族
☐近隣の方 ☐その他（ ）

☐ 15歳～19歳 ☐ 20歳～29歳 ☐ 30歳～39歳 ☐ 40歳～49歳
☐ 50歳～59歳 ☐ 60歳～64歳 ☐ 65歳以上 ☐ 不明

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 答えたくない

☐ 父母 ☐ 兄弟姉妹 ☐ 祖父母 ☐ 子・孫 ☐ ひとり暮らし ☐ わからない
☐ その他（ ）

☐ 1 年未満 ☐ 2 ～ 5 年 ☐ 6 ～ 9 年 ☐ 1 0 ～ 2 0 年 ☐ 2 1 年以上
☐ わからない

Q 5. で 10 年以上と回答した方のみお答えください。

ひきこもり状態の期間が長くなった理由をお聞かせください。

Q 6. ひきこもり状態になったきっかけは何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 不登校（小学校・中学校） | <input type="checkbox"/> 不登校（高校） | <input type="checkbox"/> 大学受験 |
| <input type="checkbox"/> 就職の失敗 | <input type="checkbox"/> 職場になじめず | <input type="checkbox"/> 失業・退職 |
| <input type="checkbox"/> 疾病（けが等） | <input type="checkbox"/> 傷病（精神的なもの） | <input type="checkbox"/> 性格的なもの |
| <input type="checkbox"/> 事故や犯罪被害 | <input type="checkbox"/> わからない | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

Q 7. ふだんどのくらい外出されますか

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 趣味の用事のときだけ外出する | <input type="checkbox"/> 近所のコンビニなどには出かける |
| <input type="checkbox"/> 自室からでるが、家からでない | <input type="checkbox"/> 自室からほとんどでない |
| <input type="checkbox"/> わからない | |

Q 8. 現在、相談（支援）を受けていますか

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 受けている | <input type="checkbox"/> 受けていない | <input type="checkbox"/> 受けていないが、受けてみたい |
| <input type="checkbox"/> わからない | | |

Q 8. で受けていると答えた方に質問です

どのようなところで相談（支援）を受けていますか（複数回答可）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 行政機関（市役所、保健センターなど） | <input type="checkbox"/> 教育機関（学校など） |
| <input type="checkbox"/> 医療機関（病院など） | <input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員 |
| <input type="checkbox"/> NPOなどの支援機関 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

Q 8. で「受けていない」または「受けていないが、受けてみたいと思っている」と回答した方に質問です。

相談（支援）を受けていない理由を教えてください。

Q 9. ひきこもり状態の方に向けて、どのようなサポートがあると良いと思いますか

(複数回答可)

- | | | |
|--|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 気軽に相談できる窓口 | <input type="checkbox"/> 悩みを話し合い、集える場所 | <input type="checkbox"/> 社会体験の場 |
| <input type="checkbox"/> 自宅への訪問 | <input type="checkbox"/> 医療機関の紹介 | <input type="checkbox"/> 福祉サービスの申請支援 |
| <input type="checkbox"/> 生活の支援 | <input type="checkbox"/> 仕事探しの支援 | |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | | |

Ｑ１０．本市では、「社会との関わりに不安がある」、「他の人コミュにケーションがうまくとれい」など直ちに就労が困難な人に、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労の機会を提供する就労準備支援事業を実施しています。このサポートに興味がありますか

☐興味がある ☐話を聞いてみたい ☐興味がない
☐その他（ ）

Q 1 1. 現在、問題や困りごとがありましたらお聞かせください。

Q 1 2. その他、行政に対してご意見等がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

「ひきこもり」に関する相談窓口について

現在、本市では福岡県ひきこもり地域支援センターと連携して地域の方が身近な場所で相談が受けれるように年に1回市役所の会議室で相談窓口を開設しています。

本年度につきましては、令和7年1月を計画しています。詳細が決まりましたら市広報誌やホームページ、SNS等でお知らせします。

(2)関係機関調査(支援者向け) 調査用紙

＜ひきこもりに関するアンケート調査設問内容＞

本市における「ひきこもり」状態にある方の実態を把握するため、アンケートを実施します。本アンケート調査は、今後の施策の検討や支援につなげるために使用します。ご協力をお願いします。

Q1 あなたが、介護支援専門員として関わっているケースで、本人または家族の中にひきこもり状態にあると思われる方（以下、「対象者」）がいましたか？（必須）

あてはまるものを1つ選択してください。「いない」「わからない」場合はQ11へお進みください

☐いる（いた） ☐だれかいるように感じる ☐いない ☐わからない

Q2 対象者の状況（年齢）について、わかる範囲で結構ですのでお選びください。

あてはまるものを1つ選択してください。

☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代
☐80代 ☐90代 ☐100歳以上 ☐不明

Q3 対象者の状況（性別）について、わかる範囲で結構ですのでお選びください。

あてはまるものを1つ選択してください。

☐男 ☐女 ☐不明

Q4 対象者の状況（同居する家族）について、わかる範囲で結構ですのでお選びください。

あてはまるものを選択してください。（複数回答可）

☐父母 ☐兄弟姉妹 ☐祖父母 ☐子 ☐孫 ☐不明

Q5 対象者または対象者の家族からどのような相談がありましたか？

あてはまるものを選択してください。（複数回答可）

対象者：☐専門機関に相談したい ☐就職したい ☐自立したい ☐お金がほしい
☐その他

対象者の家族：☐専門機関に相談したい ☐就職してほしい ☐自立してほしい
☐将来が不安 ☐その他

Q6 対象者または対象者の家族からどのような相談がありましたか？

Q5でその他と回答した方のみお答えください。

--

Q7 ひきこもり状態になられてどのくらい経っていますか？

あてはまるものを1つ選択してください。

☐1年未満 ☐2～5年 ☐6～9年 ☐10～20年 ☐21年以上 ☐不明

Q8 ひきこもりに対する要因として何が挙げられると思われますか。

あてはまるものを選択してください。（複数回答可）

☐不登校（小・中・高校） ☐経済的困窮 ☐就職活動や仕事の定着の問題 ☐精神的な疾病や障がい ☐身体的な疾病や障がい ☐対人コミュニケーションが苦手 ☐その他

Q9 ひきこもりに対する要因として何が挙げられると思われますか。

Q8でその他と回答した方のみお答えください。

--

Q10 市では令和7年1月23日（木）10：00～16：00に「ひきこもり相談会」を開催します。本人・家族に「ひきこもり相談会」（※別途チラシ参照）の案内をすることは可能ですか。

あてはまるものを1つ選択してください。

☐できる ☐できない ☐未定

Q11 ひきこもり状態にある方等への支援策として必要と思われることについてお答えください。

--

Q12 ご意見やお気づきの点がございましたら自由に記入してください。

--

アンケート実施：太宰府市健康福祉部生活支援課生活支援係
092-921-2121（内線375・300）